

はたらく女性の異業種交流会（長野会場） 開催結果概要

1 開催趣旨

県内企業等で働く女性が、職業生活における女性の活躍に関する現状や課題について学ぶとともに、自分らしい職業生活を実現する上での悩みや課題、提案等について意見交換

2 日 時

令和6年7月11日（木） 10：30～15：00

3 場 所

長野県庁 講堂（長野市大字南長野字幅下 692-2）

4 参加者

県内の企業や自治体に勤務する女性従業員・職員、女性管理職の方 62名

5 内 容 【ファシリテーター イーキュア（株）福盛 二郎 氏】

- ① ショートセミナー
- ② 交流会 以下のテーマに沿って参加者同士が意見交換
 - ・「働きやすさ」のある職場にするために
 - ・「働きがい」のある職場にするために
 - ・次世代から選ばれる組織になるために

6 参加者の主な感想・意見等

（1）参加した感想

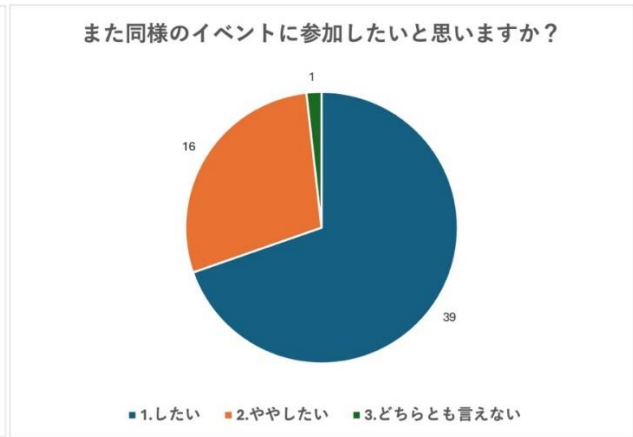
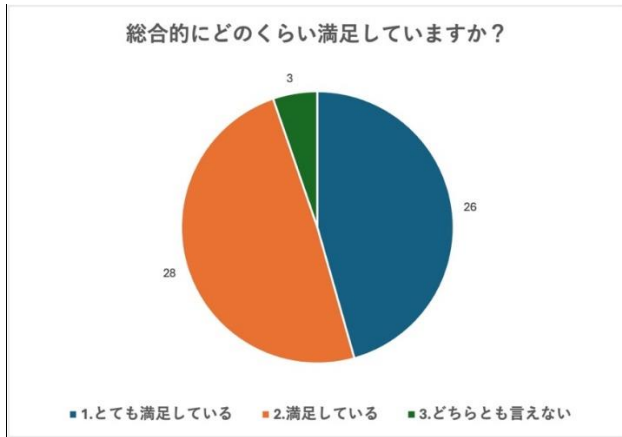
- ・様々な悩みを持っている同性がいることがわかった。
- ・社外に出る機会が少ないので、他社の事例を知ることができて有意義だった。
- ・実際に子育てや家事をこなしながら働いている人と話して、実際に思っている事や実情を知れた。またそのことを当社の女性社員へ反映できるきっかけになるのではないかと感じた。
- ・みなさんそれぞれの率直な意見を聞くことができたことで明日からのモチベーションに繋がった。

（2）「女性が、長野県で働き、暮らし続けたい」と思ってもらうために必要だと考えること

- ・暮らしやすいまちづくり、勤務先への通勤に関わる交通インフラの整備など、企業単体では改善できない街の魅力を高める必要がある。
- ・出産・育児・介護で休んでもキャリアが途切れない女性ならではの仕組み。特に出産については女性しかできないことなので、男性と同じキャリアアップの仕組みにしない。
- ・制度の充実及び意識改革。東京優位の価値観からの脱却。女性のキャリアトラックをある程度示し、それに乗れる、と言う保証をつけてあげられる制度。
- ・長野県で暮らす人たちの意識改革、役割意識の払拭、多様性を認識して認め合う文化の醸成。
- ・長野県で働くメリットが必要。お互い様の精神を具体的に使える制度にするべき。看護休暇取得しやすさなど。
- ・男女間格差をなくすこと。男性も育児休暇を取れる環境にすることで女性も安心して休めるようになると思う。
- ・転職が当たり前の時代なので、キャリアアップのための転職を受け入れられる企業体制が必要。転職による退職を祝える土壌が必要、また社会人・経験者採用を受け入れる。（人手不足なので就職先は飽和状態。人は引き留められない）

- ・企業のトップや上層部の意識の柔軟さ、多様性を認め合えるか・応援支援できるか。慣例にとらわれず、背中を押してあげられる上司やロールモデルの存在が必要。
- ・育児のための時短勤務に申し訳なさを感じていた。次に取得する後輩のためにも堂々としていけばよかった。
- ・多様な人生や働き方が当たり前の時代。一人一人の働き方に寄り添って方向性を見つけていくことが重要。

(3) 参加者アンケート



7 当日の様子

ショートセミナー



ワークショップ



高木建設（株）高木社長の感想発表



集合写真（自らの行動宣言を掲げて）

